

旧コミュニティセンター栄解体工事 特記仕様書（機械設備）

I、工事概要

1. 工事場所
- 建築工事 特記仕様書による。
2. 敷地面積
- 建築工事 特記仕様書による。
3. 建物概要

建物名称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積（㎡）	区 分	備 考
旧コミュニティセンター栄	木造	平家建	619.47	取りこわし1棟	

4. 工事種目
- 旧コミュニティセンター栄 機械設備 取りこわし一式

II、工事仕様

1. 共通仕様

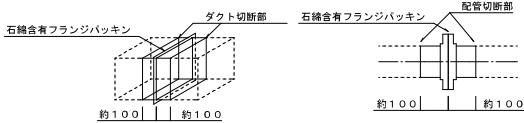
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版）」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）令和4年版）」（以下「標準図」という。）による

2. 特記仕様

（1）一般共通事項（●印のものを適用する。）

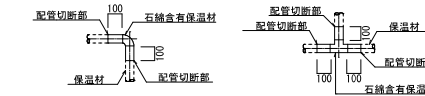
- 官公署への手続き等
- 工事の着手・施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。
- 廃散・廃アルカリ処理
- 吸収冷凍機、吸収冷凍水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は（○本工事 ○別途）とする。
- ダイオキシソ類調査
- 焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は（○本工事 ○別途）とする。
- 廃油処理
- オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（●本工事 ○別途）とする。
- 冷媒（フロン類）の回収
- 冷凍機、パッケージ型空調和機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により適切に行うこと。ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は（●本工事 ○別途）とする。
- 家電リサイクル
- 対象機器は、とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事とする。）
- 汚泥・汚水処理
- 浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は（○本工事 ○別途）とする。
- アスベスト含有製品処理
- 本工事
- ダクト及び配管のフランジパッキン及び配管エルボ・チーズ部の保温材の処理方法は以下による。
- 撤去するフランジ部、エルボ・チーズ部に含まれる石棉を処分するため、フランジ、エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。

フランジ部撤去参考詳細図



1. 切断にあたり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
2. フランジ部周側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図



1. 切断にあたり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. 保温材部周側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

● 配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空気調和	● 冷水水、冷却水	● 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ポリエチレン管
	● ドレン管	● 硬質塩化ビニル管（V P） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 油	● 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	● 冷媒管	● 冷媒用被覆鋼管
給水	● 屋内給水管	○ 水道用亜鉛メッキ鋼管 ○ 塩ビライニング鋼管 ● ポリエチレン粉体ライニング鋼管
	● 屋外給水管	○ 水道用硬質塩化ビニル管（V W） ● ポリエチレン管 ○ 塩ビライニング鋼管（V D）
	● 給湯管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 鋼管 ● 耐熱性塩ビライニング鋼管（S G P－H V A）
給湯	● 汚水管	○ 排水用鋳鉄管 ○ 塩ビライニング鋼管 ○ 鉛管 ● ビニル管（V P）
	● 雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル管（V P）
	● 通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル管（V P）
	● 屋外排水管	○ コンクリート管 ● ビニル管（V P）
	● 屋内ガス管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）
ガス	● 屋外ガス管	○ ガス用ポリエチレン管 ● 配管用炭素鋼鋼管（白）

- ダクト種別
- 亜鉛鉄板 ○ 鋼板製 ● スパイラル ● 塩ビ
- 保温種別
- ロックウール保温材 ● グラスウール保温材 ● ポリスチレンフォーム保温材 ● 化粧ケース（樹脂製）
- 衛生器具
- 陶器製 ○ S U S製

Ⅲ、取りこわし内容

（1）共通

- 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
- コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
- ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。

● オイルタンク

- オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
- オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
- オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋戻しとする。
- 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。
- 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋戻しとする。
- 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋戻しとする。
- 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。
- 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。
- 樹掘り起こし後は現場発生土で埋戻しとする。
- 給水装置 ○ 本管にて閉栓とする。 ● 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。
- 排水設備 ○ 本管にて閉止とする。 ● 公設樹にてキャップ止めとする。
- 都市ガス設備 ○ 本管にて閉栓とする。 ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

石綿含有設備資材撤去リスト

種 類	箇所	備 考 （ダクト板厚）
ボイラー室 配管フランジ部	4	
ボイラー室 配管エルボ部	10	

※ ダクト及び配管フランジ部、配管エルボ部の撤去に先立ち、フランジ部は1箇所につき2箇所、エルボ部は1箇所につき3箇所切断する。

KON 建築デザイン事務所 事務所登録番号 第564号
一級建築士登録番号123056号 今 儀次
〒037-0044 青森県五所川原市野元町4177-36（34）4505

承認

設計

担当

縮 尺

-

設計年月日

R 0 7 . 1 2

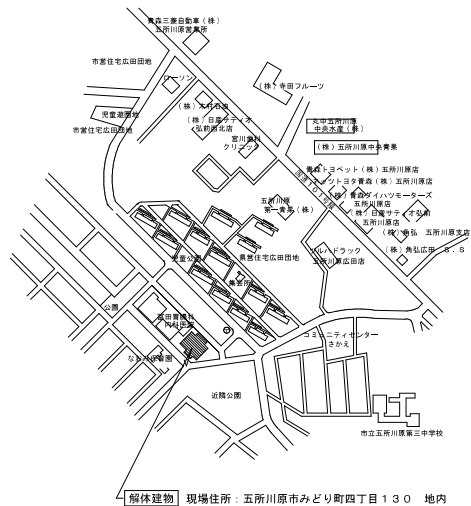
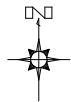
工事名称

旧コミュニティセンター栄解体工事

図面名称

機械設備工事特記仕様書

M - 0 1
No.

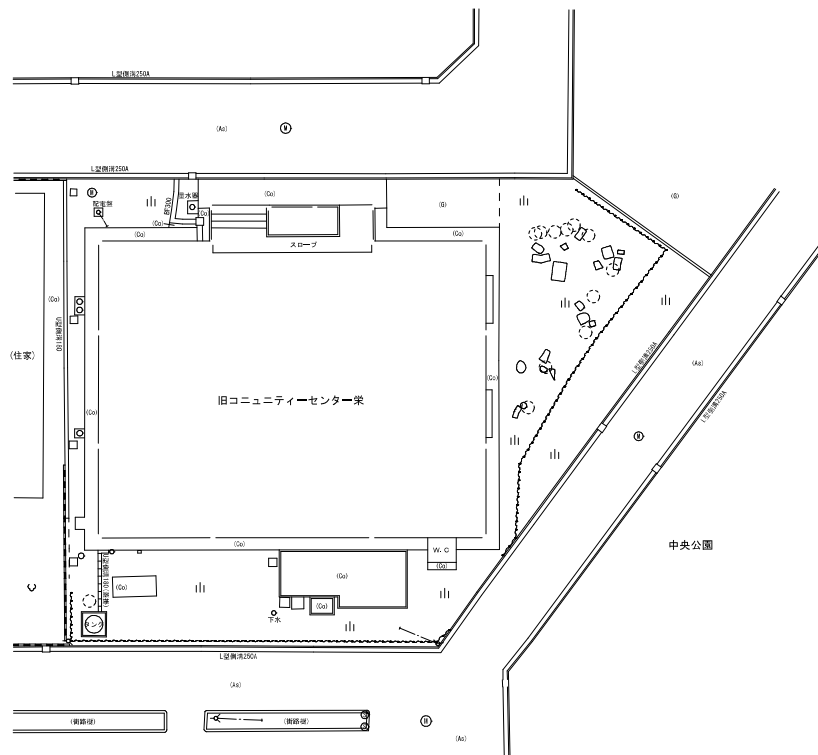


解体建物 現場住所：五所川原市みどり町四丁目130 地内

案 内 図

面 積 表

	申請部分	申請以外の部分	合計 m ²
敷地面積			1,523.25
建築面積	667.87	—	667.87
延床面積	619.47	—	619.47



配置図 S=1/300

KON 建築デザイン事務所 事務所登録番号 第564号

一級建築士登録番号123056号 今 偉次

〒037-0044 青森県五所川原市元町4177-36(34)4505

承認 設計 担当

縮 尺

1/300

設計年月日

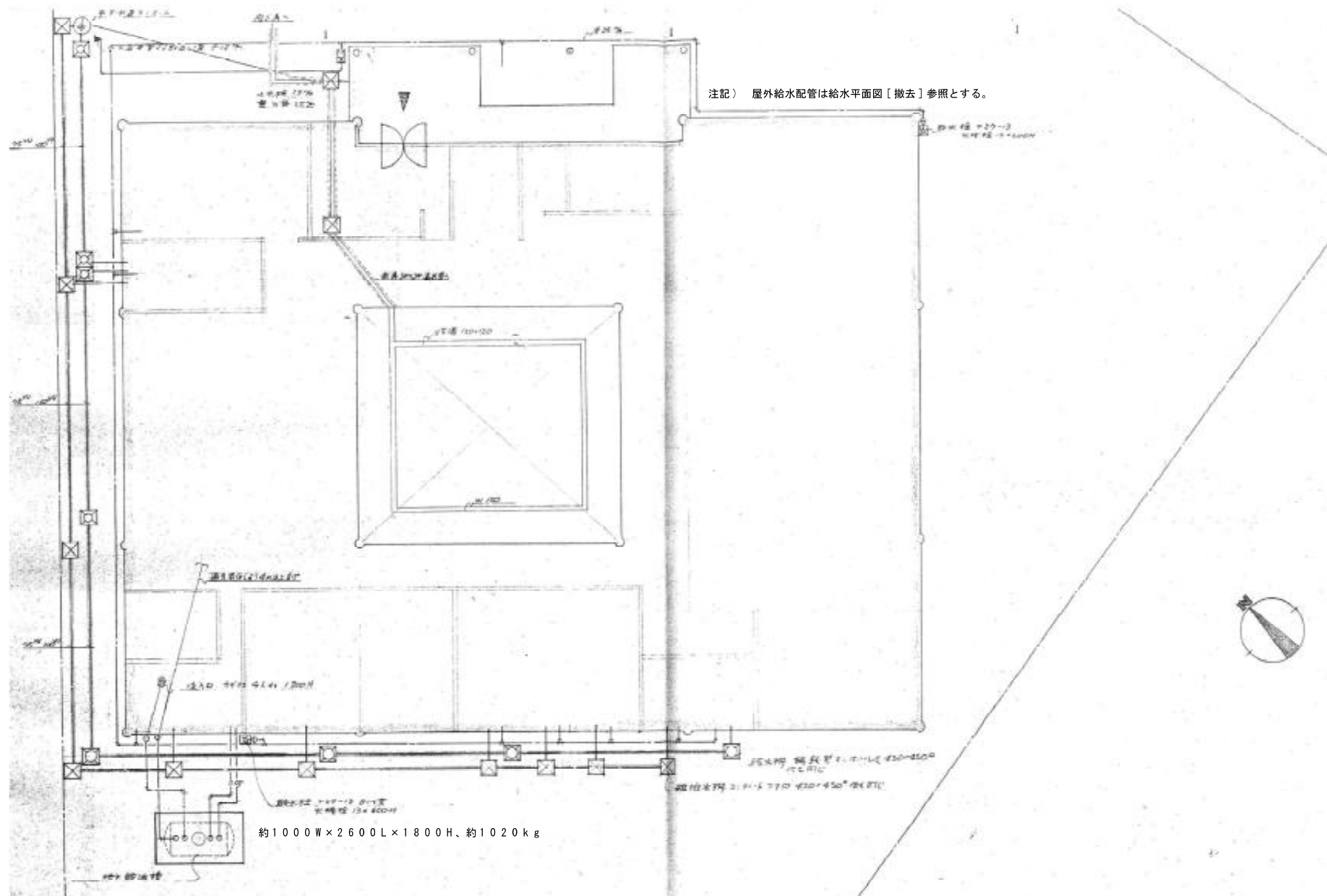
R07.12

工事名称 旧コミュニティセンター栄解体工事

図面名称 案内図・全体配置図

M-02

No.



アスファルト掘削復旧範囲

既設配水管C1P75φ

既設給水引き込み管25A分水止め

建築工事

約300W×150D×400H、約6kg

自在水栓：約300L×40W×170H、約0.5kg

散水栓：約120L×40W×120H、約0.5kg

BOX：約300L×210W×150H、約11kg

約350W×180D×550H、約25kg

建築工事

撤去済み

K@N 建築デザイン事務所

事務所登録番号 第564号

一級建築士登録番号123056号 今 信次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173(34)4505

承認 設計 担当

縮尺

1/100

設計年月日

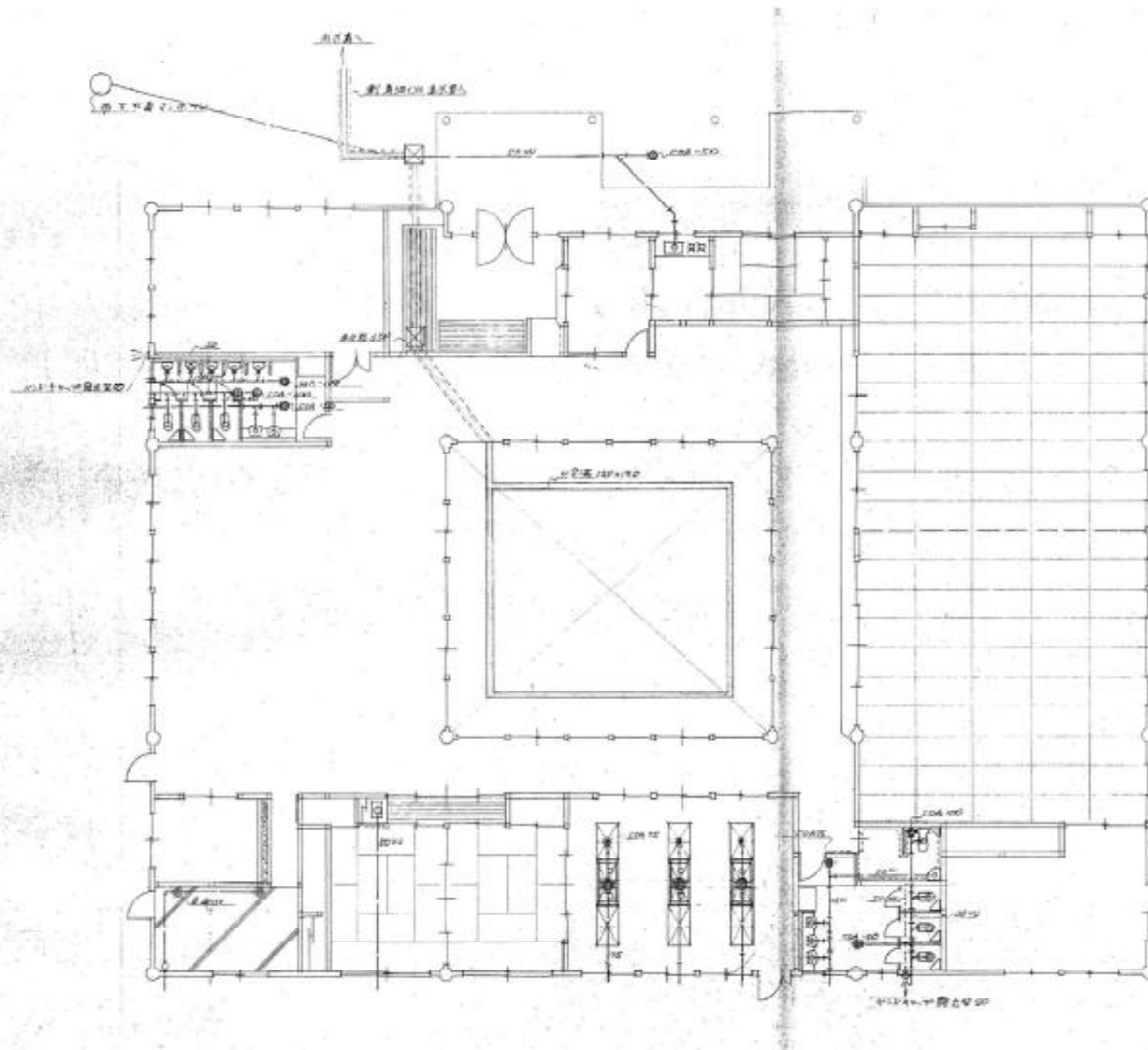
R07.12

工事名称 旧コミュニティセンター栄解体工事

図面名称 給排水衛生設備 給水平面図[撤去]

W-04

No.



洋風大トイレ：約660L×370W×450H、約30kg
 墨付きロータンク：約340W×340D×490H、約17kg
 和風大トイレ：約650L×280W×530H、約14kg
 墨付きロータンク：約340W×340D×490H、約17kg
 小便器：約380W×400D×920H、約42kg
 手洗器：約410W×320D×160H、約7kg
 化粧鏡：約350W×5D×450H、約1kg
 化粧棚：約320W×110D×60H、約0.5kg

男子トイレ

洋風大トイレ	墨付きロータンク	和風大トイレ	墨付きロータンク	小便器	手洗器	化粧鏡	化粧棚
約660L×370W×450H	約340W×340D×490H	約650L×280W×530H	約340W×340D×490H	約380W×400D×920H	約410W×320D×160H	約350W×5D×450H	約320W×110D×60H
3	5	5	5	2	2	2	2

女子トイレ

洋風大トイレ	墨付きロータンク	和風大トイレ	墨付きロータンク	小便器	手洗器	化粧鏡	化粧棚
約660L×370W×450H	約340W×340D×490H	約650L×280W×530H	約340W×340D×490H	約380W×400D×920H	約410W×320D×160H	約350W×5D×450H	約320W×110D×60H
3	5	5	5	2	2	2	2

① 化粧鏡
 ② 化粧棚
 ③ 小便器
 ④ 手洗器
 ⑤ 墨付きロータンク
 ⑥ 洋風大トイレ
 ⑦ 和風大トイレ

K&N 建築デザイン事務所 事務所登録番号 第564号

一級建築士登録番号123056号 今 償次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173(34)4505

承認 設計 担当

縮尺 1/100

設計年月日 R07.12

工事名称 旧コミュニティセンター栄解体工事

図面名称 給排水衛生設備 排水平面図[撤去]

W-05

No.